

## かきつばた投稿規則

1. 「かきつばた」(年1回4月発行)に掲載する内容は、調査報告、採集記、分類、生態、新産地報告、注目種などの、貝類に関する情報がふさわしい。新種記載を目的とした論文は受付けない。
2. 会員は誰でも投稿することが出来る。共著者は会員以外であっても構わない。ただし、記念号などの際、編集の判断により例外的に会員以外からの特別寄稿を受付ける場合がある。
3. 原稿はMicrosoft Wordにより作成し、1ページは48行、1行あたり44字で横書きとする。原稿は、タイトルとその下の著者氏名に続き、本文(緒言・方法・結果・考察)、謝辞、引用文献、図・表説明(キャプション)の順に記す。
4. 和文は全角で記し、字体(フォント)はMS明朝を原則とする。英文と数字は半角で記し、字体はCenturyあるいはTimes New Romanを原則とする。原稿タイトルや各項目タイトル(結果、考察など)の太字など、文字飾りについては、初校後に編集者によって全文共通の様式で統一する。
5. 論文の文体は「ですます」調でなく「である」調とする。ただし、文献やイベント等の紹介記事、採集記、知識の啓蒙を目的とする文面などには「ですます」調も認める。  
句読点は「。」及びカンマ「,」(「、」でない)で記す。
6. 学名の属名、亜属名、種小名、亜種名はイタリック(斜体)とする。命名者名はイタリックとせず、頭文字を大文字、それ以外は小文字(イニシャルキャピタル)で記す(例:Kuroda, Kuroda & Habe)。小さな大文字のみで記す表記(スモールキャピタル)(例:KURODA)は用いない。複数の命名者となる場合の接続詞記号には「&」を用い、「et」は使用しない。
7. 図・表は、図1、図2・・・、表1、表2とし、fig, Fig, やtable, Tableは用いない。図・表は、本文とは別に作成し、本文に貼り込まない。表は、TIFFやJPGなどの画像でなくMicrosoft Excelなどで作成したままのファイルでの投稿も構わない。図表の挿入位置については、原則として編集で決定する。図の説明部分(キャプション)では、1図内に配置された各図の番号は、[1][2]・・・あるいは、[a][b]・・・の様に表記する。
8. カラーページの印刷費用は会が負担し、著者負担はない。ただし、カラー掲載の判断は編集で行う。
9. 校正に関して、初校は著者、その後の校正は編集者が行う。初校では、編集者より投稿者に複数回、送付された原稿の改訂を指示する場合がある。その際、投稿者は編集者よりの指摘部分や指摘内容に対応した改訂稿を速やかに作成、送付し、編集者の原稿受理連絡により初校が完了する。初校途中で投稿者よりの連絡が途絶えた場合は、その原稿は受理されない。
10. 引用文献は以下の要領で記す。
  - (1) 本文中に引用しない文献については参考文献になるが、原則として本誌には参考文献を表示しない。
  - (2) 引用文献欄に示した文献はすべて、本文中の引用箇所に表示をする。
  - (3) 本文中への文献引用の表示例  
著者が1名の場合:(著者姓, 刊行年)あるいは、著者姓(刊行年)[海外の著者名では、著者姓の箇所はFamily Nameを示す(以下全て同様)]  
著者が2名の場合:和文:(主著者姓・共著者姓, 刊行年)あるいは、主著者姓・共著者姓(刊行年)、欧文:(主著者姓 & 共著者姓, 刊行年)あるいは、主著者姓 & 共著者姓(刊行年)  
著者が3名以上の場合:和文:(主著者姓・他, 刊行年)、欧文:(主著者姓 *et al.*, 刊行年)あるいは、和文:主著者姓・他(刊行年)、欧文:主著者姓 *et al.*(刊行年)
  - (4) 引用文献欄への表示例  
A. 和文論文:著者. 刊行年. 論文タイトル. 雑誌名(欧文誌名は斜体) 巻数(号数): 該当ページ.  
なお、和文誌で著者の姓名が1文字の場合は姓名の間を全角1文字分あける(以下全て同様)。  
(例: 瀧 庸, 大山 桂)  
[具体例]  
早瀬善正・木村昭一. 2017. 河和(三河湾)の内湾潮間帯の貝類相. ちりぼたん 47(1-4): 28-42.  
早瀬善正・木村昭一・河辺訓受. 2015. イノウエヤマトガイの三重県北部における新分布記録. *Venus* 73(1-2): 79-83.  
欧文論文:著者. 刊行年. 論文タイトル. 雑誌名 巻数(号数): 該当ページ.

[具体例]

Kameda, Y. & Fukuda, H. 2015. Redefinition of *Satsuma ferruginea* (Pilsbry, 1900) (Camaenidae), with description of a new cryptic species endemic to the coasts and islands of the central Seto Inland Sea, western Japan. *Venus* 73 (1 - 2) : 15 - 40.

- B. 和文単行本：著者（编者）. 刊行年. 書籍タイトル. 総ページ数. 発行者（人）, 刊行時の発行者（人）の所在地.

[具体例]

奥谷喬司（編著）. 2017. 日本近海産貝類図鑑（第二版）. 1375 pp. 東海大学出版部, 平塚.

欧文単行本：著者（编者）. 刊行年. 書籍タイトル. 総ページ数. 発行者（人）, 刊行時の発行者（人）の所在地.

[具体例]

Cameron, R. 2016. *Slugs and Snails*. xvii + 508 pp. William Collins, London.

- C. 和文単行本の一部を引用する場合：該当ページの著者. 刊行年. 該当ページのタイトル. *In*：（编者あるいは著者）. 書籍タイトル. 該当ページ. 発行者（人）, 刊行時の発行者（人）の所在地.

[具体例]

奥谷喬司. 2017. イトマキボラ科. *In*：奥谷喬司（編著）日本近海産貝類図鑑（第二版）. pp. 275 - 280, 941 - 945. 東海大学出版部, 平塚.

欧文単行本の一部を引用する場合：該当ページの著者. 刊行年. 該当ページのタイトル. *In*：（编者あるいは著者）. 書籍タイトル. 該当ページ. 発行者（人）, 刊行時の発行者（人）の所在地.

[具体例]

Stanistic, J. 1998. Family Rathouisiidae. *In*：Beesley P. L., Ross, G. J. B. & Wells, A. (eds.) *Mollusca: The Southern Synthesis, Fauna of Australia volume 5, Part B*. pp. 1064 - 1065. CSIRO Publishing, Melbourne.

- (5) 引用文献欄に示す各文献の配列順は、著者名のアルファベット順とする。複数著者の場合、筆頭著者が同一で共著者が異なる場合には筆頭著者以降の著者のアルファベット順に配列する。

単著の文献を先に配列し、単著と同一の著者が筆頭になる複数著者の文献をその後に配列する。

単著・複数著者に限らず同一著者の文献は刊行年の古いものより先に配列し、刊行年が同一の場合にはアルファベットの小文字(abc...)を本文引用順に刊行年に添えて区別する(例:1998a, 1998b...)。筆頭著者が同一で共著者がそれぞれ異なる著者3名以上の文献にも、同一の刊行年が複数ある場合には、アルファベットの小文字を添えて、本文引用部分での文献の区別を行う。

これ以外の文献表記に関しての不明な部分は、本誌掲載論文を参照あるいは、編集に相談する。

11. 別刷り注文は行わない。主著者には、掲載論文数の多少にかかわらず投稿論文が掲載された該当号を5部謹呈する。
12. 各号の原稿締め切りは、本誌発行日の2ヶ月前（通常は2月1日）とする。
13. 本規則は、2019年4月1日より発効とする。

・ 投稿原稿は、投稿者の連絡先となる e-mail アドレスを添えて編集統括者（木村昭一）宛に送付する。初めて投稿される方は、名古屋貝類談話会ホームページ内の連絡先アドレスにお問い合わせ下さい。

・ 投稿後の編集者と投稿者間での校正などの連絡は、e-mail で行うことが望ましい。

・ なお、かきつばた投稿規則を明文化しましたが、原稿作成に関してこれまでと変更はありません。上記の規則に合わない原稿フォーマットでの投稿をされた場合、従来どおり編集者が上記の様式に合わせて全て整え直しますのでご了承ください。図・表や原稿の作成に関しても、投稿者のみでの作成が困難な場合には、これもこれまでと同様に編集者が対応しますので、各種ご相談下さい。